

広報

だんち

2025
2月号

NO.517

(協)焼津水産加工
センター発行

焼津市惣右衛門1280番地の2

令和7年2月28日発行

編集・総務係

TEL・054-624-2111

FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp>

2月団地の言葉

「ルールを守って安全作業」

みんなの意識で安全職場」

今年の節分は4年振りに2月2日でした。節分の日には地球の公転周期と暦のズレを補正する為、毎年同じ日になるとは限りません。ちなみに「2021年は124年振りの2月2日」という事で「少しだけ」話題になったのを覚えているでしょうか？2日には節分グルメとして定着している恵方巻を食べた方も多いかと思いますが農林水産省の公式ホームページでは、もともとは1970年代に海苔業界が販売促進の為に宣伝し、今ほど浸透するに至った経緯としては1990年代に大手コンビニやスーパーが全国で販売して広く「節分グルメ」恵方巻」をPRしたからだと記載されています。近年スーパーやコンビニなどが競ってオリジナリティ溢れる恵方巻を販売していましたがテレビで1本1万円の高級品が紹介されていたのには驚きました。海苔に金箔が巻いてあり、自己主張が強めだったのが印象的でしたが購入した方がテレビのインタビューに「縁起物だし孫が“映える””と言っていたので1本だけ購入し、あとは普

通の恵方巻を家族の人数分購入しました」と答えていましたが、イマドキは食品も「味プラス映え」を意識して若い世代に訴求していく事も販売戦略上不可欠ですね。この様な1本1万円は決して珍しい事例ではなく今年「高級路線」が目立った気がします。コンビニでも有名な飲食店とコラボした恵方巻を販売していましたが、大手スーパーでも中の具材が高級牛肉だったり鮪がはみ出していたり気軽に購入できる様な価格帯ではない物もたくさん見掛けました。

ところで、なぜ節分の日に恵方を向いて無言で太巻きを食べるのか諸説ありますが個人的には「クリスマスにケンタッキーを食べる様な感覚」程度の認識です。今年の節分がちょうど日曜だったので夕方スーパーに行ったら17時過ぎに「3割引き」、19時を過ぎてからは「半額」のシールが貼られていましたが、だいぶ売れ残っている様に見受けられました。確か昨年にも大量に廃棄された恵方巻が「フードロスの象徴」の様に見られていた事を思い出しました。恵方巻やクリスマスケーキの様に「特定の日限定」で需要がある食品は本当に大変だと思います。少なくともダメ、多過ぎてダメでとにかく需要当日に売り切る必要があるので生産計画を立てる担当者は

本当に頭を悩ませている事だと思えます。「完全予約販売のみ！」と言い切ってしまうば廃棄ロスは限りなく抑えられますが、そんな事は消費者が許す訳がありません。令和の米騒動と言われ米の価格高騰が叫ばれる今のご時世に米を使った食品が大量に廃棄されるという矛盾が気になるのは食品業界に携わる皆さんも同じではないでしょうか？

今月のだんちの言葉は焼津マリケンセンターの作品です。



今月の紙面

p2 2月の定例役員会／地元協議会を開催／57期生集合講習修了

p3 実習生定期監査を実施／生産高調査結果

p4 カツオ情報／百味窓

3月の組合行事予定

3月10日(月)

定例役員会

3月の暦

3月20日(木)

春分の日

◆2月の定例役員会◆

去る2月10日に、2月度定例役員会が開催されました。

1 令和7年度重点事業について
 新年度において部門横断的に重点的に取り組んでいく項目について、事務局案として以下の通り上程された。
 ・組合鏝節加工部の運営体制に関する計画立案

・団地内等の土地利用活用協議を踏まえた共同施設整備計画策定
 ・人材確保を目指した団地内職場環境・従業員資質の向上
 (継続取組課題)

・地元と連携した団地内環境整備の実施と防減災対策

・技能実習生及び特定技能人材に関する新制度への円滑な移行と体制の維持
 これらについて、「具体的な着地を示す必要があるのでは」「土地利用と施設整備は分割させては」など、各位より意見がよせられたが、現状においての推進状況やおかれた環境などを鑑みると結果的には原案がよいのでは、という結論に達した。これにより原案である事務局案にて承認された。

2 総務委員会開催の報告について
 2月3日に行われた総務委員会での審議内容と結果について報告された。

4月に実施される職員の人事異動については原案通り承認され、同じく4月実施の職員定期昇給については、事務局案に若干の変更を加えた上で承認された。また今年6月の通

常総会で現行役員が任期満了を迎えるとし、その人員配置についても意見交換を行った。

3 その他報告連絡事項

「日本鏝節定例役員会開催報告」「給水管漏水対応工事完了報告」「地元協議会開催報告」「ミャンマー男性の徴兵条件の変更」ほか2件について了承された。

◆地元協議会を開催◆

1月25日(土) 地元自治会(和田第21自治会)との公害防止協定に基づく「地元協議会」を開催しました。これは毎年の恒例行事となっておりませんが、自治会役員の皆様に対し前年1年間の加工団地内での出来事や今後の予定を報告し、また自治会からのご意見やご要望をお伺いするなどの交流を図る目的で継続しております。今回の主な報告事項として組合員の脱退・加入、化工場での設備入れ替え工事の完工等について報告させて頂きました。また年末に団地近隣の市道で発生したひき逃げ事案に絡めて街路灯の設置に関する要望などをお伝えさせて頂きました。自治会からは自治会役員や近隣住民を対象とした団地見学の



の実施や防災・減災に関する協力体制について等のご意見・ご要望を賜りました。最後

に第21自治会村松会長より「令和6年は大きなトラブル無く適切に団地運営をされている事がわかりました。今後も加工団地と地元自治会が良好な関係を維持し続けていく事を願います」と締め括られ閉会しました。

◆57期生集合講習修了◆

2月7日(金)、(株)富士冷、(株)マールヨシ、(株)金虎に所属する10名(ミャンマー出身)実習生の集合講習終了式を行いました。

1月8日(水)に入学して、合計176時間以上の集合講習中、法的保護、消防署の防火訓練、焼津警察署の交通指導、安全教育等の勉強をして、日本語を習得しながら、市内の施設、公園などで社会見学をしました。

講習中に社会勉強として、監理団体職員より日本の税金システム、ごみの出し方、自治会活動の紹介、海の事情、実習中の注意事項、仕事に取り組む姿勢を勉強しました。

10名の来日タイミングは、ちょうど真冬の時期であり、日本の冬の寒さを知らない実習生達でしたが、全員が風邪を引くこともなく、一か月の集合講習はスムーズに終了しました。



◆実習生定期監査を実施◆



2025年1月16日に、実習生受入れ企業9社への定期監査を実施しました。

3か月に一度の監査は今回も同様に、実習実施者の実習責任者、指導員などと面談し、実習日誌、賃金台帳、タイムカードなどを確認の上、実習生との面談を実施しました。

実施しました。

実習生の受け入れ企業各社は法令を遵守し、違反がなく、実習活動を順調に進んでいることがわかりました。

1月8日に10名の新規入国があり、配属する予定の企業も監査対象であるため、同様に監査を実施しました。

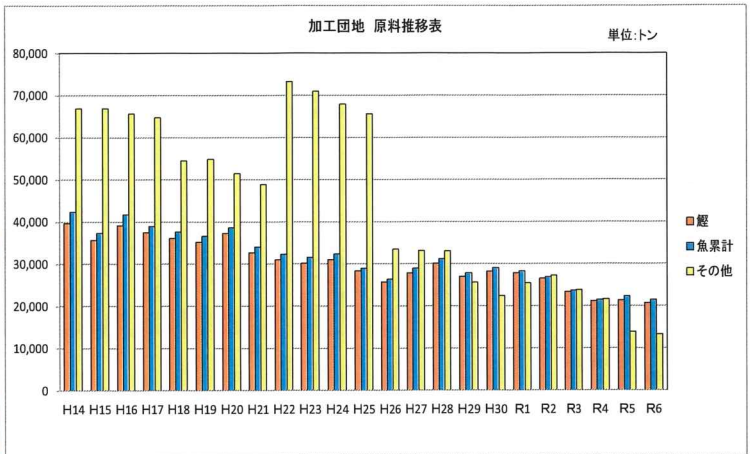
今年度は正月休みでの連休が長く、実習生達が国内の観光へよく行きました。1月12日の新年会には7割ぐらいの実習生が参加し、良い年に向かってスタートしました。

技能実習生の離職はないですが、特定技能1号生は依然として離職者が少しづつ増え、東京辺りに転職します。

新しい実習法の筋はまた不明な点が多く、実習生受け入れ企業は期待と不安を持っています。

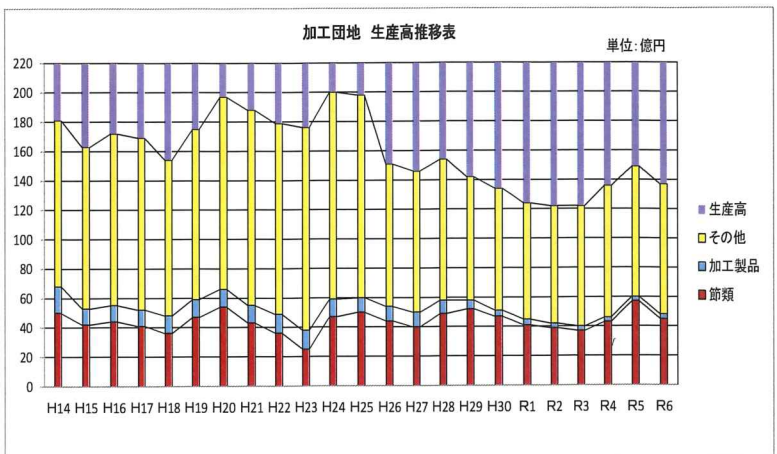
【令和6年度団地加工量・生産高調査結果】

令和6年	令和5年(前年)	前年比%	
1. 原材料加工処理量			
数量			
加工原料名	数量(t)	数量(t)	
鯉類	20,700	21,274	97
鯖類	717	989	72
鯖	14	15	93
その他魚類小計	0	0	
魚類合計	21,431	22,278	96
調味原料	1,853	1,900	98
食肉原料	1	2	50
化成原料	10,859	11,390	95
その他	543	569	95
魚類除く小計	13,256	13,861	96
合計	34,687	36,139	96



	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
鯉	39,697	35,660	39,174	37,445	36,070	35,193	37,223	32,741	30,973	30,172	31,042	28,358	25,753	27,865	30,104	26,995	28,225	27,848	26,549	23,357	21,151	21,274	20,700
魚累計	42,368	37,355	41,715	38,945	37,620	36,643	38,607	34,084	32,332	31,528	32,369	28,995	26,375	28,932	31,137	27,875	29,042	28,286	26,843	23,669	21,477	22,278	21,431
その他	66,884	66,899	65,647	64,720	54,493	54,858	51,427	48,880	73,315	70,958	67,926	65,589	33,505	33,120	33,037	25,629	22,443	25,462	27,188	23,839	21,622	13,861	13,256

令和6年	令和5年(前年)	前年比%				
2. 製品生産高						
製品	数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量	金額
節類	3,771	4,595,342	4,013	5,712,734	94	80
加工製品小計	1,121	314,335	1,015	318,890	110	99
その他小計	14,552	8,979,932	16,350	8,900,310	89	101
合計	19,444	13,889,609	21,378	14,931,934	91	93



	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
節類	50	42	44	41	36	47	54	43	36	25	47	50	44	40	49	52	47	41	39	37	43	57	45
加工製品	18	11	11	11	12	12	12	12	13	13	12	10	10	10	9	6	4	4	3	3	3	3	3
その他	113	110	117	117	106	116	131	133	130	138	141	138	97	96	96	84	83	79	80	82	90	89	89
生産高	181	163	172	169	154	175	197	188	179	177	200	198	151	146	155	143	135	125	123	123	137	149	138

2024年（1～12月計）の輸出入 ※輸出はFOB価格、輸入はCIF価格
※財務省貿易統計データを加工して作成



カツオ

<輸出>	2024年		2023年	
	数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
タイ	30,745	6,000,801	14,408	3,574,848
フィリピン	4,298	991,588	2,866	812,250
インドネシア	854	162,398	—	—
計	36,067	7,185,460	17,526	4,463,003

<輸入>	2024年		2023年	
	数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
インドネシア	32,841	6,793,706	30,627	7,483,694
ブルネイ	360	76,722	368	86,831
タイ	300	43,588	249	46,800
計	33,999	7,027,275	33,924	8,269,749

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

※水産庁統計データ冷蔵水産物流通統計月末在庫を加工して作成

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2024年(単位:t)	19,247	20,876	19,165	20,335	20,580	19,429	16,628	26,972	28,011	27,006	26,962		245,211

§国内主要漁港市場の水揚 (2024年1～12月計)

※水産庁統計データ産地水産物流通統計を加工して作成

情報

<生カツオ>	2024年		2023年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	51,667	331 円	49,683	382 円	104%	87%
<冷カツオ>	174,806	254 円	148,912	315 円	117%	81%
<カツオ合計>	226,473	272 円	198,595	332 円	114%	82%

§焼津水揚 (2025年1月計)

※焼津漁業協同組合統計データ取扱高対比表を加工して作成

<1本釣カツオ>	2025年		2024年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	1,608	320 円	1,406	370 円	114%	86%
<巻網カツオ>	2,686	259 円	4,634	262 円	58%	99%
<カツオ合計>	4,294	282 円	6,040	287 円	71%	98%

百味窓

差異

違う国、差異があるのは当然です。

新幹線の乗務員あるいは車掌さんは、車内に出入りする際に丁寧に頭を下げ、一礼することに感心する。乗客は携帯電話をマナーモードに切り替え、静かな車内環境に乗客の心が癒されます。異国の新幹線では車内で電話をかけ、隣に座る人の本を勝手に取って読む。礼儀が足りない反面、人は自然なままにあるようです。乗務員は一礼することがなく、逆に乗客に次はあなたの下車駅で、乗り過ごさないようにと声をかける。最近の若者は車内での携帯電話の使い方が気になっているようです。

日本の駅のホームはコンパクトで、効率よく利用している。隣国のホームは莫大で、資源の浪費ではないかとの声はあるが、洪水、寒波などでホームに多くの人の足が取られる場面を考えると必要なのでは、との計画で相当大きな駅を作ったらしい。根本的な原因は人口が多いことです。防災で利用する目的もある。

日本の冬は各家庭エアコン、ストーブで暖を取る。そのお陰で、大気汚染が殆どなく、反面火災の発生率が高い。隣国では国が集中暖房（スチームかお湯）を提供して、各家庭室内温度は24度以上を保ち、室内外の温度差は30～40度程で、室内では半袖で冬を過ごすことができる反面、暖房の源は石炭であるため、大気汚染も発生する。

国柄は簡単に変えるものではなく、お互いに謙虚に良いところを吸収すればよい、一民間人の考えです。